



2024年3月期第1四半期 決算説明資料

2023.08.02

TIS株式会社

© 2023 TIS Inc.

- TISの河村でございます。よろしくお願いいたします。
- それでは、本日15:00に発表しました、当社グループの第1四半期決算の内容についてご説明いたします。

2024年3月期第1四半期 業績概要

- ・前年同期比増収増益。
- ・人材投資をはじめとする先行投資がありながら売上高総利益率が向上し、営業利益率は11%台に。
- ・全体の受注高・受注残高は前年同期比増加。開発受注高の減少は反動減によるもの。

- ・ はじめに、2ページをご覧ください。
- ・ 今回の第1四半期決算のハイライトですが、
- ・ 前年同期比増収増益
- ・ 人材投資をはじめとする先行投資がありながら、売上高総利益率が向上し、営業利益率は11%台となったこと
- ・ 開発受注での反動減があるものの、全体の受注状況は前年同期比増加となったこと
- ・ 以上の3点から、2024年3月期も好調なスタートが切れたといえます。

2024年3月期第1四半期 業績概要

2024年3月期 業績見通し

参考資料

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、TISインテックグループ（TISおよびグループ会社）が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
・各四半期会計期間（3カ月）の数値は累計期間の差引により算出しています。
・各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。（P.9除く）

（説明省略）

2024年3月期第1四半期 業績概要

2024年3月期 業績見通し

参考資料

(説明省略)

**2024年3月期第1四半期
業績ハイライト（前年同期比）**



・顧客のデジタル変革需要等のIT投資ニーズへの的確な対応を通じた事業拡大により、増収増益。
・営業利益率は第1四半期として初めて11%台を達成。引き続き力強い増益率を実現。

(百万円)	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	前年同期比	
売上高	118,072	129,429	+11,357	(+9.6%)
営業利益	12,502	14,310	+1,808	(+14.5%)
営業利益率	10.6%	11.1%	+0.5P	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,763	10,147	+1,384	(+15.8%)
四半期純利益率	7.4%	7.8%	+0.4P	-

・営業外収益：1,165百万円（前期比 ▲248百万円）

・特別利益：773百万円（前期比 +724百万円）

・営業外費用：147百万円（前期比 +22百万円）

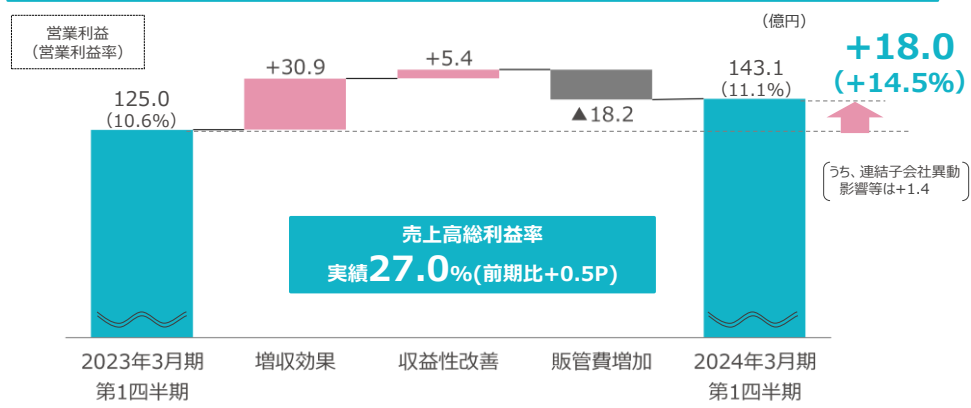
・特別損失：223百万円（前期比 ▲120百万円）

- ・ それでは、5ページをご覧ください。
- ・ 2024年3月期第1四半期の業績概要です。
- ・ 引き続き良好な事業環境が継続したことを背景に、好調に推移しました。
- ・ 売上高は前年同期比113億円増の1,294億円となりました。顧客のデジタル変革需要等のIT投資ニーズへの的確に対応したことが奏功したと考えています。
- ・ 営業利益は前年同期比18億円増の143億円となり、営業利益率は10.6%から11.1%となりました。
- ・ 親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益の増加を背景として前年同期比13億円増の101億円となりました。

2024年3月期第1四半期 営業利益要因別増減分析（前年同期比）



・積極的な先行投資を実行しながらも、営業増益を達成。売上高総利益率は27.0%に向上。



構造転換推進のための先行投資コスト：前年同期比+4.8
 (売上原価：+3.9 販管費：+0.9)
 「ソフトウェア投資」 / 「人材投資」 / 「研究開発投資」
 +
人材投資コスト（追加分）：前年同期比+13.6
 (売上原価：+9.2 販管費：+4.3)

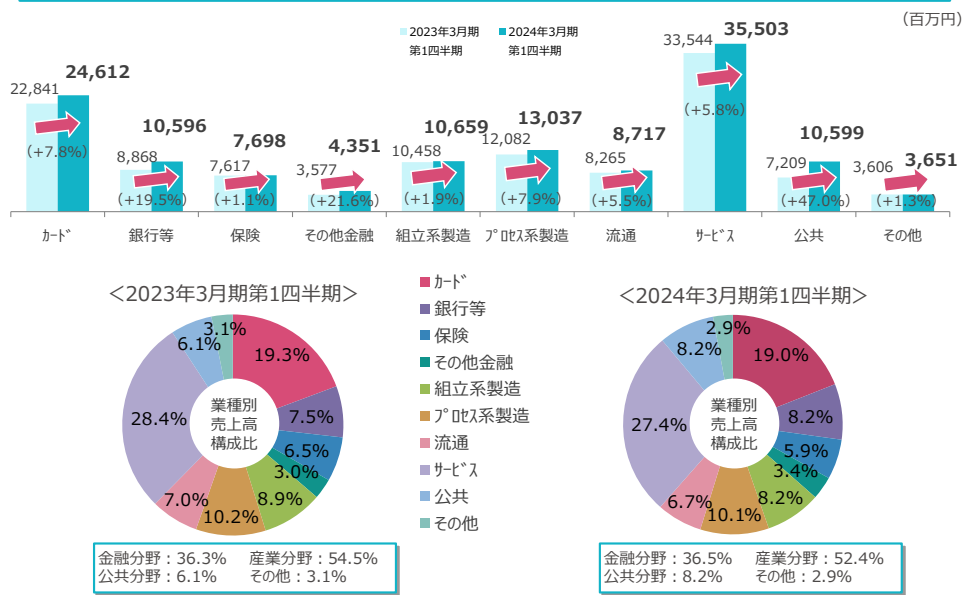
連結子会社異動影響等	▲1.6
先行投資（人材投資除く）	+0.9
先行投資（人材投資）	+4.3
その他	+14.6
計	+18.2

- ・ 6ページは営業利益の要因別増減です。
- ・ 増収効果及び収益性改善による売上総利益の増加が、販管費の増加を吸収して、前年同期比18億円の営業増益となりました。
- ・ 売上高総利益率は、大型案件をはじめとする増収効果に加えて、積極的な先行投資を実行しながらも、生産性・品質向上施策の推進等を行うことで、前年同期比0.5ポイント上昇の27.0%へ向上させることができました。
- ・ 高い収益性が実現できたことで、営業利益率の上昇にもつながっています。
- ・ なお、第1四半期の不採算案件は約3億円でした。

2024年3月期第1四半期 顧客業種別売上高



・すべての業種で前年同期比増。カード、銀行（海外）、サービス、公共が大きく牽引。



- ・ 7ページをご覧ください。顧客業種別売上高の状況です。
- ・ すべての業種で増収となっており、全体的に好調でした。
- ・ 根幹先顧客における大型案件の寄与が大きく、「カード」、「公共」が好調に推移しました。
- ・ 「サービス」については幅広い顧客に対する売上の積み上がりによるものです。
- ・ また、「銀行」の増加には、主に海外子会社MFECの業績拡大が寄与しています。

**2024年3月期第1四半期
主要セグメント別損益状況（前年同期比）**



(百万円)		2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	前年同期比	
オフリング サービス	売上高	26,192	28,018	+1,826	(+7.0%)
	営業利益	1,467	1,157	▲310	(▲21.2%)
	営業利益率	5.6%	4.1%	▲1.5P	-
BPM	売上高	10,581	10,300	▲280	(▲2.7%)
	営業利益	1,087	727	▲359	(▲33.1%)
	営業利益率	10.3%	7.1%	▲3.2P	-
金融IT	売上高	22,960	26,737	+3,777	(+16.5%)
	営業利益	2,795	4,081	+1,285	(+46.0%)
	営業利益率	12.2%	15.3%	+3.1P	-
産業IT	売上高	26,701	28,670	+1,969	(+7.4%)
	営業利益	3,544	4,393	+848	(+23.9%)
	営業利益率	13.3%	15.3%	+2.0P	-
広域IT ソリューション	売上高	36,397	41,784	+5,386	(+14.8%)
	営業利益	3,404	4,061	+656	(+19.3%)
	営業利益率	9.4%	9.7%	+0.3P	-

オフリングサービス : 海外事業が売上高伸長に寄与。決済をはじめとする幅広い分野でのIT投資拡大も先行投資コスト増等により、増収減益。
 BPM : 既存のデータエントリー業務苦戦の影響が大きく、減収減益。
 金融IT : クレジットカード系の根幹先顧客および公共系金融機関の大型案件が牽引し、増収増益。
 産業IT : 製造の既存顧客を中心としたIT投資拡大の動きやERP事業が牽引し増収増益。
 広域ITソリューション : ソリューション展開の進展に加え、医療系や銀行をはじめとしたIT需要を取り込み、増収増益。

© 2023 TIS Inc.

8

- 8ページは、主要なセグメント別の状況です。
- 「オフリングサービス」は海外事業が売上高伸長に寄与するとともに、決済をはじめとする幅広い案件の積み上がりにより増収となりましたが、サービス型ビジネス推進を目的とした先行投資コストの増加等により減益となりました。
- 「BPM」は既存のデータエントリー業務が減少している影響で、関連する周辺業務の開発も併せて苦戦していることから、減収減益となりました。
- 「金融IT」はクレジットカード系根幹先顧客や公共系金融機関の大型案件が牽引し、増収増益となりました。いずれの大型案件もこの上期がピークということで収益を大きく押し上げる形となりました。
- 「産業IT」は製造系顧客やERP事業を中心としたIT投資拡大の動きにより増収増益となりました。
- 「広域ITソリューション」は前期のトレンドが継続し、幅広くIT投資需要を取り込んだことに加えて、ソリューションの横展開により、増収増益となりました。

2024年3月期第1四半期
 主要セグメント別売上高（事業別）※外部顧客向け



(百万円)	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	前年同期比	
オファリングサービス	23,358	24,928	+1,570	(+6.7%)
ソフトウェア開発	11,177	10,288	▲889	(▲8.0%)
運用・クラウドサービス	6,983	8,526	+1,542	(+22.1%)
製品・ソフトウェア販売	5,197	6,113	+916	(+17.6%)
BPM	9,997	9,798	▲198	(▲2.0%)
ソフトウェア開発	4,289	3,222	▲1,066	(▲24.9%)
運用・クラウドサービス	5,707	6,385	+678	(+11.9%)
製品・ソフトウェア販売	—	189	+189	—
金融IT	22,570	26,366	+3,796	(+16.8%)
ソフトウェア開発	12,115	15,336	+3,220	(+26.6%)
運用・クラウドサービス	9,103	9,635	+532	(+5.8%)
製品・ソフトウェア販売	1,351	1,395	+43	(+3.2%)
産業IT	26,526	28,540	+2,013	(+7.6%)
ソフトウェア開発	17,758	18,946	+1,187	(+6.7%)
運用・クラウドサービス	5,827	6,516	+688	(+11.8%)
製品・ソフトウェア販売	2,940	3,077	+137	(+4.7%)
広域ITソリューション	35,005	39,277	+4,272	(+12.2%)
ソフトウェア開発	17,883	20,063	+2,180	(+12.2%)
運用・クラウドサービス	13,603	13,922	+318	(+2.3%)
製品・ソフトウェア販売	3,518	5,291	+1,773	(+50.4%)

© 2023 TIS Inc.

9

(説明省略)

2024年3月期第1四半期 受注状況（全体）



- ・受注高・受注残高ともに全体としては前年同期比増。
- ・金融ITの受注高減少はソフトウェア開発の影響によるもの。

（百万円）	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	前年同期比	
当期受注高	88,249	89,536	+1,287	(+1.5%)
オフリングサービス	15,733	16,531	+798	(+5.1%)
BPM	10,237	10,236	▲1	(▲0.0%)
金融IT	14,415	12,423	▲1,992	(▲13.8%)
産業IT	19,827	21,534	+1,707	(+8.6%)
広域ITソリューション	28,034	28,809	+775	(+2.8%)
期末受注残高	132,876	141,830	+8,954	(+6.7%)
オフリングサービス	23,786	25,634	+1,847	(+7.8%)
BPM	8,744	7,887	▲856	(▲9.8%)
金融IT	31,235	34,855	+3,620	(+11.6%)
産業IT	31,166	31,059	▲107	(▲0.3%)
広域ITソリューション	37,943	42,393	+4,450	(+11.7%)

© 2023 TIS Inc.

■ 10

- ・ 10ページからは受注状況についてのご説明です。
- ・ まず、10ページは運用を含めた全体の受注状況です。
- ・ 受注高は前年同期比1.5%増の895億円となりました。
- ・ 「金融IT」がソフトウェア開発の受注高減少の影響により、前年同期比で減少していますが、全体としては前年同期比増加となりました。
- ・ 受注残高についても、前年同期比6.7%増の1,418億円と高い水準にあります。

2024年3月期第1四半期 受注状況（ソフトウェア開発）



- ・受注高の減少は、金融ITにおける大型案件の反動減やBPMの減少によるもの。
- ・受注残高は、産業ITの大型案件の反動減の影響あり。

（百万円）	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	前年同期比	
当期受注高	61,232	59,070	▲2,161	(▲3.5%)
オフリングサービス	9,561	10,630	+1,069	(+11.2%)
BPM	4,530	3,524	▲1,005	(▲22.2%)
金融IT	11,872	9,018	▲2,853	(▲24.0%)
産業IT	16,839	17,430	+590	(+3.5%)
広域ITソリューション	18,427	18,465	+37	(+0.2%)
期末受注残高	92,331	94,606	+2,275	(+2.5%)
オフリングサービス	14,684	14,070	▲614	(▲4.2%)
BPM	8,744	7,751	▲993	(▲11.4%)
金融IT	21,635	25,507	+3,872	(+17.9%)
産業IT	23,220	21,178	▲2,041	(▲8.8%)
広域ITソリューション	24,046	26,099	+2,052	(+8.5%)

© 2023 TIS Inc.

■ 11

- ・ 11ページは「ソフトウェア開発」の受注状況についてです。
- ・ 受注高は前年同期を下回りましたが、主に、「金融IT」におけるクレジットカード系根幹先顧客の大型案件の反動減の影響によるものです。
- ・ 「BPM」についても前年同期を下回りましたが、売上高の状況と同様に既存のデータエントリー業務の減少に関連して、周辺業務の開発も併せて苦戦していることによるものです。
- ・ 受注残高については「産業IT」で前年同期比で大きく減少していますが、主に大型案件の反動によるものです。
- ・ 以上が、当第1四半期に関するご説明となります。

2024年3月期第1四半期 業績概要

2024年3月期 業績見通し

参考資料

- 続きまして、2024年3月期の業績見通しについてご説明いたします。

2024年3月期
業績予想ハイライト ※変更なし



・前期に決定した連結子会社の異動影響も寄与し、積極的な人材投資などの先行投資によるコスト増を吸収して、増収増益の計画。
 ・当期純利益の減少は、前期の政策保有株式の縮減等による特別利益の反動減が主要因。

(百万円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 計画	前期比	
売上高	508,400	530,000	+21,599	(+4.2%)
営業利益	62,328	63,500	+1,171	(+1.9%)
営業利益率	12.3%	12.0%	▲0.3P	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	55,461	42,000	▲13,461	(▲24.3%)
当期純利益率	10.9%	7.9%	▲3.0P	-
1株当たり当期純利益 (円)	227.11	174.19	▲52.92	(▲23.3%)
ROE *	18.8%	13.7%	▲5.1P	-

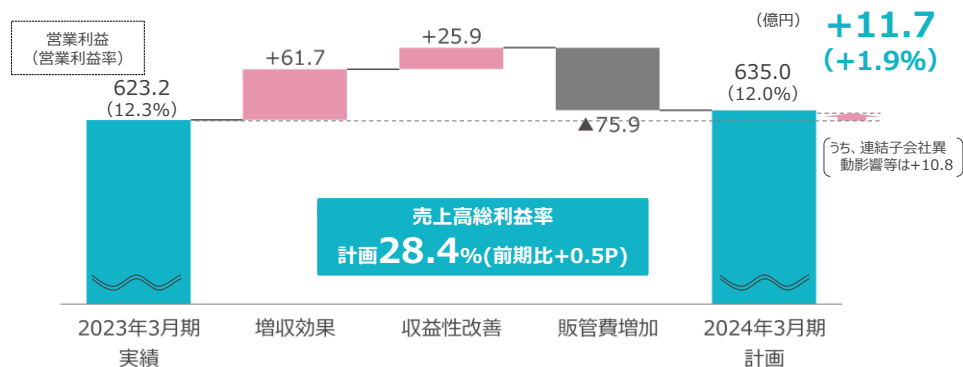
* 2024年3月期のROEは、試算値。

- ・ 13ページは2024年3月期の通期業績予想です。
- ・ 冒頭でも申し上げたように、第1四半期の実績は好調なスタートといえる内容でした。
- ・ セグメントによって強弱があるものの、全体としては通期計画に対しての進捗は概ね想定通りのため、現時点では2024年3月期の業績見通しの変更はございません。
- ・ 引き続き全体としての計画達成に向けて、案件獲得・受注積み上げ等を推進し、期初計画の達成をより確かなものにしてまいります。
- ・ 以上で、説明を終了いたします。

2024年3月期 営業利益要因別増減分析（予想）※変更なし



- ・売上高総利益率のさらなる向上により、先行投資に伴うコスト増を吸収し、営業増益を見込む。
- ・新規に連結子会社化した日本ICSは、のれん償却影響を考慮すると利益への寄与は限定的。



構造転換推進のための先行投資コスト：前期比+14.7

(売上原価：+10.0 販管費：+4.7)

「ソフトウェア投資」 / 「人材投資」 / 「研究開発投資」

+

人材投資コスト（追加分）：前期比+50.0

(売上原価：+32.0 販管費：+18.0)

<販管費増減>

連結子会社異動影響等	+23.6
先行投資（人材投資除く）	+4.7
先行投資（人材投資）	+18.0
その他	+29.4
計	+75.9

(説明省略)

2024年3月期
主要セグメント別損益状況（予想）※変更なし



(百万円)		2023年3月期 実績	2024年3月期 計画	前期比	
オフアリング サービス	売上高	111,752	122,800	+11,047	(+9.9%)
	営業利益	6,426	7,450	+1,023	(+15.9%)
	営業利益率	5.8%	6.1%	+0.3P	-
BPM	売上高	43,255	44,000	+744	(+1.7%)
	営業利益	5,123	5,150	+26	(+0.5%)
	営業利益率	11.8%	11.7%	▲0.1P	-
金融IT	売上高	101,184	105,500	+4,315	(+4.3%)
	営業利益	13,896	13,900	+3	(+0.0%)
	営業利益率	13.7%	13.2%	▲0.5P	-
産業IT	売上高	113,632	115,700	+2,067	(+1.8%)
	営業利益	16,728	16,800	+71	(+0.4%)
	営業利益率	14.7%	14.5%	▲0.2P	-
広域IT ソリューション	売上高	160,010	165,100	+5,089	(+3.2%)
	営業利益	19,343	19,900	+556	(+2.9%)
	営業利益率	12.1%	12.1%	▲0.0P	-

オフアリングサービス : 連結子会社の異動影響等により増収増益。決済やその他幅広いサービスの拡大は主に売上に寄与。
 BPM : 付加価値向上によるBPO事業再拡大と、業務最適化支援等に注力も緩やかな増収増益。
 金融IT : 大型案件の着実な推進及び既存顧客を中心としたIT投資需要の取り込みにより、増収。利益は横ばい。
 産業IT : 根幹先顧客を中心としたIT投資需要の取り込みにより増収も、利益は横ばい。
 広域ITソリューション : 医療事業及び既存顧客のIT投資需要の取り込みおよびソリューションの進展により、増収増益。

© 2023 TIS Inc.

15

(説明省略)

2024年3月期第1四半期 業績概要

2024年3月期 業績見通し

参考資料

(説明省略)

(質疑応答終了後、司会よりのご挨拶を振ります)

「本日はTIS株式会社 2024年3月期第1四半期 決算説明会にご参加いただき、誠にありがとうございました。

ご質問などがございましたら、個別取材の際または電話にて弊社IR担当までお問合せいただければ回答させていただきます。

今後ともよろしくお願い申し上げます。」

(閉会)

2024年3月期上期

業績ハイライト・主要セグメント別損益（予想） ※変更なし



(百万円)		2023年3月期 上期	2024年3月期 上期	前年同期比	
売上高		245,305	261,000	+15,694	(+6.4%)
営業利益		27,709	29,500	+1,790	(+6.5%)
営業利益率		11.3%	11.3%	+0.0P	-
親会社株主に帰属する四半期純利益		18,834	19,500	+665	(+3.5%)
四半期純利益率		7.7%	7.5%	▲0.2P	-
主要セグメント別					
オフライン サービス	売上高	53,887	58,400	+4,512	(+8.4%)
	営業利益	2,494	2,800	+305	(+12.2%)
	営業利益率	4.6%	4.8%	+0.2P	-
BPM	売上高	21,490	21,800	+309	(+1.4%)
	営業利益	2,405	2,400	▲5	(▲0.2%)
	営業利益率	11.2%	11.0%	▲0.2P	-
金融IT	売上高	48,718	54,200	+5,481	(+11.3%)
	営業利益	6,311	7,500	+1,188	(+18.8%)
	営業利益率	13.0%	13.8%	+0.8P	-
産業IT	売上高	55,219	56,100	+880	(+1.6%)
	営業利益	7,763	7,700	▲63	(▲0.8%)
	営業利益率	14.1%	13.7%	▲0.4P	-
広域ITソリューション	売上高	76,304	81,600	+5,295	(+6.9%)
	営業利益	8,352	9,000	+647	(+7.7%)
	営業利益率	10.9%	11.0%	+0.1P	-

© 2023 TIS Inc.

■ 17

(説明省略)

2024年3月期下期

業績ハイライト・主要セグメント別損益（予想） ※変更なし



(百万円)		2023年3月期 下期	2024年3月期 下期	前年同期比	
売上高		263,095	269,000	+5,904	(+2.2%)
営業利益		34,618	34,000	▲618	(▲1.8%)
営業利益率		13.2%	12.6%	▲0.6P	-
親会社株主に帰属する四半期純利益		36,627	22,500	▲14,127	(▲38.6%)
四半期純利益率		13.9%	8.4%	▲5.5P	-
主要セグメント別					
オフライン サービス	売上高	57,865	64,400	+6,534	(+11.3%)
	営業利益	3,931	4,650	+718	(+18.3%)
	営業利益率	6.8%	7.2%	+0.4P	-
BPM	売上高	21,765	22,200	+434	(+2.0%)
	営業利益	2,717	2,750	+32	(+1.2%)
	営業利益率	12.5%	12.4%	▲0.1P	-
金融IT	売上高	52,466	51,300	▲1,166	(▲2.2%)
	営業利益	7,585	6,400	▲1,185	(▲15.6%)
	営業利益率	14.5%	12.5%	▲2.0P	-
産業IT	売上高	58,412	59,600	+1,187	(+2.0%)
	営業利益	8,965	9,100	+134	(+1.5%)
	営業利益率	15.3%	15.3%	▲0.0P	-
広域ITソリューション	売上高	83,706	83,500	▲206	(▲0.2%)
	営業利益	10,990	10,900	▲90	(▲0.8%)
	営業利益率	13.1%	13.1%	▲0.0P	-

© 2023 TIS Inc.

下期計画 = 通期計画 - 上期計画

18

(説明省略)

2024年3月期第1四半期 プレスリリース/お知らせ①



発表日付	タイトル
2023年4月3日	TIS および連結子会社の人事異動のお知らせ
2023年4月7日	インテック、伊予銀行に「グループ企業間連携CRMサービス」を導入
2023年4月13日	TIS、AWSへの移行の経済効果を可視化する、「AWSクラウドエコノミクス評価サービス」を提供
2023年4月14日	ネクスウェイ、製造・卸売業向け買掛業務改善クラウドサービス「トツゴー」の「クラウド請求書受領・明細突合サービス」を提供開始
2023年4月18日	TIS、JaDHAの「デジタル医療サービスの円滑な活用に向けた基幹プラットフォーム構築WG」に幹事企業として参画
2023年4月18日	インテック、百十四銀行に顧客との面談記録を登録できる音声認識スマホアプリを導入
2023年4月19日	TISと大阪大学量子情報・量子生命研究センター（QIQB）、量子コンピュータの理論を自然に学ぶことができるゲーム「QuantAttack（クアントアタック）」を開発し、無料公開
2023年4月20日	偽造防止デジタルプラットフォーム「Akliteia®」食品偽装対策への活用を開始
2023年4月25日	Sales Lab、DX・新規事業支援を手掛けるビタリーに「オールインワンBPO型営業支援サービス」を導入し、商談化率5倍を実現
2023年4月26日	インテック、ファンケルに統合型セキュアネットワークサービスを導入
2023年4月27日	ネクスウェイ、coinbookの新しいアイドルグループの創造を目的としたIEOサービスに、「ネクスウェイ本人確認サービス」及び「SMSLINK」を導入
2023年5月1日	連結子会社の人事異動のお知らせ
2023年5月9日	TIS の人事異動のお知らせ
2023年5月10日	業務課題改善に向けて SAP® Signavio®を活用した業務プロセスの可視化・プロセスマイニングを開始
2023年5月10日	AWSの「AWS Ambassadors」「2023 Japan AWS Top Engineers」「2023 Japan AWS All Certifications Engineers」「2023 Japan AWS Jr. Champions」にTIS社員が選出
2023年5月10日	「BANKIT®」を利用したAI顔認証決済の実証実験への参画について
2023年5月11日	クオリカ、サイボウズパートナー評価制度「Cybozu Partner Network Report 2023」インテグレーション部門で2年連続2つ星の評価を獲得
2023年5月15日	TISの「こたろ税金簡易導入サービス」を、伊予銀行が採用
2023年5月15日	TIS、「マルチステークホルダー方針」を策定
2023年5月16日	TIS、HIFと販売代理店契約を行い新規融資案件の獲得に有効なAI非財務定性審査サービス「二十一式人工知能付自動与信審査回路」を提供開始
2023年5月16日	インテック、ジャフコ グループの「ジャフコSV7投資事業有限責任組合」へ出資
2023年5月17日	TIS、APIプラットフォームの技術検証サービスにお客様管理モデルを追加提供

© 2023 TIS Inc.

■ 19

(説明省略)

2024年3月期第1四半期 プレスリリース/お知らせ②



発表日付	タイトル
2023年5月18日	インテック、地域DXを推進するデータ連携基盤として「エリアデータ活用サービス」の提供を開始
2023年5月19日	インテック、「mcframe Award 2023」で「Customer Success Award」を受賞
2023年5月23日	TIS、NTT Comと連携しスマートビルディングのロボット活用の高度化を実現
2023年5月24日	TIS、仕様書・研究論文・設備点検報告書などの紙文書をデジタル化できる「文書アーカイブDXサービス」を提供開始
2023年5月25日	「WOOD DREAM DECK」と埼玉県横瀬町の取り組み第一弾 世界環境デー6月5日(月)に地域木材で作ったサウナをお披露目
2023年5月26日	ネクスウェイの「アスヤクDIポータル」のDIYピックが、グッドサイクルシステムの電子薬歴「スマート薬歴GooCo」に連携
2023年5月26日	伊那市とインテック、新しいまちづくりに関する連携協定を締結
2023年5月29日	TIS、次世代スマートヘルス分野のスタートアップを支援する「デジタルヘルスファンド大阪」へ出資
2023年5月29日	TIS、働き方の改革をDXで推進
2023年5月30日	TIS、「人的資本経営実践サービス」でHCプロデュースとパートナー企業として提携
2023年5月30日	TISの経費精算クラウドサービス「Spendia」チェック機能拡張による不正検知・ガバナンス強化を実現
2023年5月31日	TISの「ヘルスケアパスポート」を関西電力グループの関西メディカルネットへ導入
2023年6月1日	TISインテックグループ、温室効果ガス排出削減目標を引き上げ、「1.5℃水準」でSBT認証を取得
2023年6月1日	TIS および連結子会社の人事異動、機構改革のお知らせ
2023年6月6日	マイクロメイツ、学習用テキストに新たにMicrosoft Forms、Outlook on the webを追加
2023年6月7日	TISの経費精算クラウドサービス「Spendia」、「BOXIL SaaS AWARD Summer 2023」経費精算システム部門で「Good Service」ほか3つのNo.1に選出
2023年6月8日	TIS、「2023 Tenable Assure Partner Award」にて「Top Regional Partner APAC」に選出
2023年6月8日	登録管理ネットワーク、自動車ローン/クレジットの所有権解除を専用 Web サイトで受け付ける「所有権解除オンライン受付サービス」を提供開始
2023年6月13日	TIS、大林組による建設現場のデジタルツインを構築できる「デジタルツインアプリ」の開発を支援
2023年6月15日	TISソリューションリンク、日立製作所の「JJP1 Partner Award」を受賞
2023年6月20日	クオリカ、外食産業向け店舗管理ソリューション「TastyQube Growth」をコロワイドグループに導入
2023年6月21日	TIS、「PHRサービス事業協会」の執行役（副会長）、技術・教育委員会委員長に就任

© 2023 TIS Inc.

■ 20

(説明省略)

2024年3月期第1四半期 プレスリリース/お知らせ③



発表日付	タイトル
2023年6月23日	TIS および連結子会社の人事異動のお知らせ
2023年6月23日	リリィの限定ボイスストーリーがもらえる、TVアニメ「スバイ教室」とのタイアップカード第二弾の発行が決定
2023年6月26日	TISの経費精算クラウドサービス「Spendia」が2年連続で「IT導入補助金」の対象ツールに認定
2023年6月26日	マイクロメイツ、「業務課題 可視化サービス」の無償トライアルを開始
2023年6月27日	TIS、「Tenable Cloud Security活用支援サービス」を提供開始
2023年6月27日	インテック、栃木銀行に「F3（エフキューブ）CRMサービス」と連携した業務のデジタル化ツール「POWER EGG」を導入
2023年6月28日	アグレックス、「住所クリーニングサービス」の無料診断を開始
2023年6月28日	TIS、アズワンの「SuperStream-NX」バージョンアップとクラウド移行を2か月半で実現
2023年6月29日	TIS、非財務指標の企業価値貢献をデータ分析から導き出す「データドリブン・サステナビリティマネジメント支援サービス」を提供開始
2023年6月29日	TIS、「マイクロソフト ジャパン パートナー オブ ザ イヤー 2023」にて「VDIアワード」受賞
2023年6月29日	インテック社員が、AWSの「2023 Japan AWS All Certifications Engineers」「2023 Japan AWS Jr. Champions」に選出
2023年6月30日	アイディア、TIS、プリスコ、海事産業向けオープンAPIプラットフォームを構築
2023年6月30日	クオリカ、小売専門店向けトータルソリューション「SpecialtyQube Growth」をコロナスポートウェアジャパンに導入

(説明省略)

ITで、社会の願い叶えよう。



<本資料の取り扱いに関して>

本資料は、著作権法及び不正競争防止法上の保護を受けております。資料の一部あるいは全部について、TIS株式会社から許諾を得ずに、複写、複製、転記、転載、
改変、ノウハウの使用、営業秘密の開示等を行うことは禁じられております。本文記載の社名・製品名・ロゴは各社の商標または登録商標です。

(説明省略)